

第3次上尾市環境基本計画 進捗管理

計画進捗度

64% (業務指標進捗度 ○:42 -: 3 ×: 21)

※年度実績値が年度目標値を達成した業務指標の割合

評価

低調 維持 **概ね順調** 順調

評論

計画指標の目標値の達成に向けて、業務指標の全体的な進捗は概ね順調に進んでいます。ただし、業務指標ごとに目を向けると、「公害の防止」については、目標値を達成できたものが少なくなりました。望ましい環境像「安全で安心して暮らせるまちを形成している」を実現できるよう努めます。



「自然との共生」では、市民へ箱わなを貸し出し、アライグマを捕獲・駆除することで、特定外来生物による地域本来の生物への被害や農業被害等を防止に努めました。また、箱わなの台数を10台から20台に増やし、対策を強化しました。今後も同様の被害の発生を防止することに努めます。

「公害の防止」では、各種の調査を適切に実施し、適時に必要な周知や指導を行いました。問題を解決するためには、迅速に現地で調査を行い原因を特定することや適切な指導が必要であると認識しており、各種の調査については引き続き継続して実施してまいります。

「快適環境の構築」では、市民農園の開設について、随時市民農園開設相談を受け付けたことにより、市民農園の開設数が増加しました。農地所有者の高齢化や後継者不足により耕作が難しくなっている農地の活用策として期待できます。今後も相談体制を継続し、農地の保全・活用を推進します。

「循環型社会の形成」では、令和5年7月より粗大ごみ戸別収集を開始し、搬入業者にリサイクル品の選別を依頼したことにより、リサイクル品持込数の増加につながっていることが伺えます。今後も収集業者にリサイクル品の持ち込みについて協力を依頼するなど、リサイクル品の持ち込み数の増加やごみの最終処分割合の削減に努めます。

「低炭素社会の構築」では、ゼロカーボンシティの実現に向けて、今後も広報、ホームページ等を活用し、意識啓発に努めたことから、省エネ対策推進奨励金（省エネ設備）において、申請件数が増加しました。また、イツモ防災講座の受講者数が増加したことは、気温上昇に伴う災害発生リスクの備えとなります。今後も緩和策と適応策の両面で啓発活動に取り組みます。

「環境活動の活発化」では、あげお環境賞受賞団体の照会件数が増加し、活動報告を行うことで団体やの活動内容について、広く周知するとともに環境保全についての意識を醸成しました。



「自然との共生」については、自然観察会の参加者数（累計）（生物多様性への取組）が目標値に届きませんでした。周知を強化し、生物多様性についての啓発に努めます。

「公害の防止」では、工場・事業場の排水基準が不適合だった事業所があり、適合率が目標値に届きませんでした。定期的な監視を行い、排水基準を満たすよう指導を続けます。

「快適環境の構築」では、クリーン上尾運動参加者一人当たりごみ回収量が増加しました。コロナ禍が明け地域の活動量が増えたことにより、ごみが増加したと推測されます。ポイ捨て防止の啓発活動に努めます。

「循環型社会の形成」では、地域リサイクルの活動による資源回収割合が減っています。地域リサイクル活動に対しては、報奨金を支給し、引き続きサポートを継続します。

「低炭素社会の構築」では、ぐるっとくんの年間利用者数が、目標値を達成できませんでした。ぐるっとくんの運行の見直し等、利用者の増加を目指します。

「環境活動の活発化」では、環境学習会の参加者数について、目標値を達成することができませんでした。周知方法など改善を図り、環境活動に対する理解の促進に努めます。